

## 公的医療機関等 2025 プラン (2023 年度版)

## ○基本情報

- ・ 医療機関名 : 埼玉石心会病院
- ・ 開設主体 : 社会医療法人財団石心会
- ・ 所在地 : 埼玉県狭山市入間川 2 丁目 37 番 20 号
  
- ・ 許可病床数 : 450 床
  - (病床種別) : 一般病床 410 床
  - 回復期リハビリテーション病棟 40 床
  - ※急性期一般病棟 7 : 1、ICU : 12 床 CCU : 10 床 HCU : 17 床
  - (病床機能別) : 高度急性期、急性期、回復期
  
- ・ 稼働病床数 : 450 床
  - (病床種別) : 一般病床 410 床
  - 回復期リハビリテーション病棟 40 床
  - (病床機能別) : 高度急性期 39 床、急性期 371 床、回復期 40 床
  
- ・ 診療科目 : 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、神経内科、感染症内科、人工透析内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科
  
- ・ 職員数 1,156 人 2023.12.31 時点
  - (医師) 138 人
  - (看護職員) 516 人
  - (専門職) 348 人
  - (事務職員) 154 人

## 1. 現状と課題

### ①当該病院（自施設）の現状

#### ・地域内での役割・機能

地域医療支援病院、がん診療指定病院、臨床研修病院、埼玉県災害時連携病院、  
 埼玉地域DMAT指定病院、埼玉県搬送困難事案受入医療機関、  
 埼玉県急性期脳卒中治療ネットワーク基幹病院、  
 埼玉県大動脈緊急症治療ネットワーク基幹病院、  
 所沢地区病院群輪番制病院  
 小児科救急医療病院群輪番制病院(2023年度をもって終了)  
 紹介受診重点医療機関、埼玉県指定 診療・検査医療機関(外来対応医療機関)  
 新型コロナウイルス感染症 重点医療機関、協力医療機関

### ②当該病院（自施設）の課題

- ・ E R、救急ホールディング部門への人材の早期投入
- ・ 救急患者受入れ後の転送、転院調整
- ・ 外傷疾患への急性期対応
- ・ (広域) 大規模災害対応、医療過疎地域からの患者受入れ（ヘリポート運用）
- ・ 在院日数短縮のための入退院支援センターの運用、他院との後方連携
- ・ 院内外を含めた感染管理体制の構築
- ・ 周術期外来の設置
- ・ 地域連携パスの作成と運用（早期転院）
- ・ 糖尿病（腎性透析）への対応
- ・ 服薬指導、NST、ICT、急性期リハビリテーション体制強化
- ・ 人材の育成と確保
- ・ 患者さん、お見舞い患者さんの駐車場確保（50台）

## 2. 医療機能ごとの病床数

時点	病床数	医療機能別					区分別	
		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	一般	療養
2023年 7月1日 時点	450床	39床	371床	40床			450床	
2025年 7月1日 時点	470床	43床	387床	40床			470床	

※令和5年度病床機能報告の数値を入力

### 3. 今後の方針

#### ①地域医療構想を踏まえた当該病院（自施設）の地域において今後担うべき機能・役割

- ・社会医療法人として『断らない医療』を理念として、実践する。
  - ・ EMT科スタッフ（救急救命士）による、患者搬送（転送）、他院との連携を図る。
  - ・ 専門医の派遣、後方病院への診療支援（医療圏内外）を行う。
  - ・ 地域医療支援病院として紹介の受入れ、地域連携パスの作成・運用を積極的に進める。
  - ・ 埼玉県がん診療指定病院として、がん患者さんをサポートする。
  - ・ NST・ICT・リハビリテーションなどのチーム医療を図る。
  - ・ 小児救急医療病院群輪番制、在宅医療を支える。
  - ・ 地域住民（職員）への疾病予防、健康増進を図る。（健康塾、出張講演）

#### ②①を踏まえた今後の方針

（病床機能や診療科の見直し、他病院との連携の方針、その他見直しの予定等）

- ・ 今後持つべき病床機能
  - ・ 高度急性期の病床の整備
  - ・ 救急救命センター（20床）若しくは、それに準ずる機能の整備
  - ・ 新興感染症対応
- ・ その他見直すべき点
  - ・ 地域医療連携の見直し（後方病院をはじめとする病々連携強化）
  - ・ 入院時フローの見直し（早期転退院に向けたスタッフ介入：入退院支援センター）
  - ・ 地域クリティカルパスの作成・運用
  - ・ 病床見直し（回復期リハ病棟：40床）

#### ③その他の数値目標について

①：②に関連する自施設設定の数値目標(2025年20床増床後想定)

- ・ 病床稼働率 96.8%
- ・ 手術室稼働率 70.0%
- ・ 紹介率 70.0%
- ・ 逆紹介率 90.0%
- ・ 平均在院日数 11日（1日平均在院患者数455人）
- ・ 新規入院患者数 1,150人/月、新規退院患者数 1,150人/月
- ・ 救急車受入台数 10,000台/月
- ・ 救急受入応需率 100%（2021年度応需率 99.6%）

②：①を踏まえた今後の方針

- ・ 「災害拠点病院」及び「がん拠点病院」への指定申請
- ・ 感染症病棟設置の為の増築

#### 4. 新興感染症への取組

陽性患者、疑い患者受け入れ医療機関として埼玉県より指定をうけ、2021年11月からは臨時病床として50床まで受け入れ可能なプレハブ病棟を敷地内に設置し、各フェーズでの確保病床数に応じ、市内、市外発生に関わらず、中等症以上の患者を積極的に受け入れていた。今後は対象患者の急増状況に応じて一般病床を感染者用とするなど、状況に応じ受け入れ体制を整えて対応している。

●コロナ入院患者受入件数(陽性・疑似症合算)

2020年度 627件、2021年度 822件、2022年度 806件、2023年度1月末時点 394件

#### 5. その他

自由記載

2017年版からの削除項目

・放射線治療の整備

放射線治療の整備については救命救急センターの取得が遅れていること、新興感染症の対応を優先することから計画を延期し2025年プランからは削除とする。